

薬用作物産地支援 栽培技術研修 高知会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物（特に国内生産重点品目）の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

研修実施場所： 高知県立県民文化ホール（高知県高知市本町4-3-30）第6多目的室

実施時期： 11月28日(火)～29日(水)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
11月28日(火)	13:25-13:50 (25分)	13:20 現地集合 場所：佐川駅前（土讃線） 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	14:00-16:00 (120分)	〔講義・現地研修〕 薬用作物の栽培技術等について	「ヒューマンライフ土佐」における現地研修で、収穫時期の状況を見学し、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	高橋 昌彦	農事組合法人ヒューマンライフ土佐 代表理事
	16:00-17:15 (75分)	移動(バス利用) →高知市内 研修会場付近	初日解散	事務局	
11月29日(水)	9:00-9:50 (50分)	〔講義〕 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	小柳 裕和	日本漢方生薬製剤協会生薬国内生産検討班長
	10:00-11:10 (70分)	〔講義〕 薬用作物の栽培技術について	ミシマサイコの栽培技術および薬産協が設定した重点品目について紹介する。	飯田 修	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター 客員研究員
	11:20-12:00 (40分)	〔講義〕 三豊市における薬用作物栽培普及に向けた4年間の取り組み	地域おこし協力隊からスタートした、薬用作物栽培の導入・普及・拡大（サイコ、トウキ、キジツ）の取り組みについて、「継続」をキーワードにその活動を紹介する。	高畠 正彦	三豊市農林水産課 地域プロジェクトマネージャー
	12:10-13:10	昼食			
	13:10-14:40 (90分)	〔情報交換会〕 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40-15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	

※ 内容は一部変更の可能性があります。